◆平成26年6月10日発行（毎月1回10日発行）◆第24巻第6号（通巻281号）

CODEN：KTEKER
http://www.nikko-pb.co.jp/
発行：日本工業出版

6

2014
Vol.24 No.6

クリーン環境と清浄化技術の専門誌

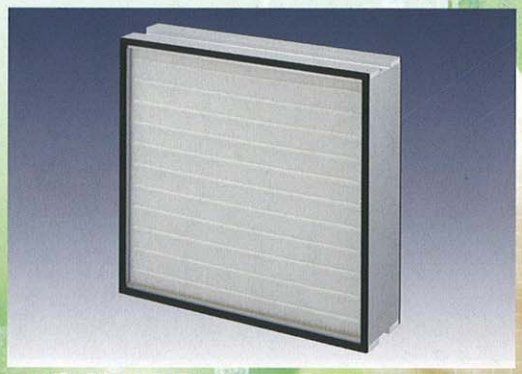
クリーンテクノロジー
Clean Technology

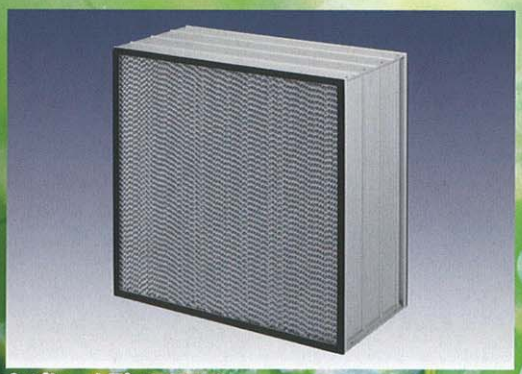
特集 真空関連技術の最新動向

製品ガイド：ドラフトチャンバー・アイソレーター

日本空気清浄協会会長賞受賞
ナノファイバー研究の応用製品

世界No.1の超低圧力損失と長寿命を両立した
フッ素樹脂HEPAフィルタシリーズ


エンボス形<BFMD>


セパレータ形<BFMC>

ミニプリーツ形<BFML>

日本無機株式会社
http://www.nipponmuki.co.jp/

第1回　カノマックス・エアロゾルワークショップ
「最新のエアロゾル研究の課題と計測技術への期待」

／日本カノマックス㈱

同社では、4月11日、東京・品川インターシティホールにて、最先端のエアロゾル研究や、微粒子計測に関連する課題やトピックス、ならびに、今後の計測技術の動向の紹介と討論を主体とした「カノマックス・エアロゾルワークショップ」を開催した。

今回のワークショップにおいては、海外のゲストスピーカー講演を含む最新のエアロゾル研究の動向や課題についての講演のほか、エアロゾル質量分級装置（APM）を活用した最新の研究事例の紹介や討論を中心に、世界で最小・最軽量のポータブル粒度分布測定器（PAMS）や、画期的な小型飛行時間型質量分析装置（infiTOF）に使われているコア技術、アプリケーション事例なども紹介し、研究ニーズに貢献する計測技術の将来像について有意義な情報交換と討論の機会となった。

結果は以下のとおり。

■プログラム

(1)　基調講演

- Chris Hogan准教授（米国・ミネソタ大学 工学部 機械工学科）
- Chuen-Jinn Tsai教授（台湾・国立交通大学 環境工学研究所）
- 大谷吉生教授（金沢大学 理工研究域 自然システム学系／学長補佐）
- 畠山史郎教授（東京農工大学 大学院 農学研究院／日本エアロゾル学会会長）

(2)　テクニカルセッション

- エアロゾル質量分級装置（APM）：APMの使用事例と課題、及び今後の期待
- ポータブル粒度分布測定器（PAMS）：世界最小最軽量の微粒子粒度分布測定器の紹介
- 小型飛行時間型質量分析器（infiTOF）：小型・高分解能マルチターン飛行時間型質量分析装置の紹介

(3)　実機デモンストレーション

- APM-Ⅱ　● PAMS　● infiTOF

／問い合わせ先　先端計測事業部 粒子研究計測ソリューションズディヴィジョン
TEL：06-6877-0177　FAX：06-6877-6849